

公益社団法人長野県介護福祉士会 令和7年度 活動計画

基本理念

私たち介護福祉士は、自己決定を最大限尊重し、人間の尊厳の保持を旨とする介護サービスを提供します。そして、すべての人々が住み慣れた地域において安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指します。

そして、介護福祉士の一人ひとりが、日々やりがいを感じ、安心して働ける介護業界となるようその使命を担って行きます。

目的

1. 介護に従事する者を支える職能団体となる
2. 介護福祉士の自己研鑽とその人らしい生活を支えるための人材を育成する
3. 地域の中での介護福祉士の活動を推進する

目標

1. 各支部での会員との関係性を強化する
2. 介護の質の向上のための研修の提案をする
3. 専門職ができることを地域で活動する

令和7年度 基本方針

介護福祉士会の活動が活発に行われ、介護福祉士が仕事でやりがいを感じる瞬間を会員が感じている事と思います。しかし、依然と続く物価高騰などが影響していることから、安定した運営と活動が出来るための新しいアイデアが求められています。最新のテクノロジーを活用して、オンラインでの研修やセミナー、ワークショップを実施等の工夫が必要ですし、情報提供方法のデジタル化を早急に進めていくことが必須です。

また、組織率の伸び悩みがあり、その影響は会の運営に大きな影響を与えています。入会促進及び退会抑制に取り組んでまいります。合わせて、他の団体や組織との連携を促進し賛助会員の入会を募ります。地域貢献活動と、研修会の充実を図り、そこからのつながりを考える1年にしたいと考えています。専門職として社会的責任を果たすために、組織の充実と強化に向けての組織改善を行いながら、「人づくり」と「繋がり」「交流」など。魅力を引き出す活動展開をしていきます。

1. 支部組織と活動を見直し、支部での活動の活性化を図る。
2. 質の高い介護サービスの提供を目指す研修内容と研修方法を検討する。

3. ふくしニアを通して地域に介護の価値観と魅力を発信する。

1. 事業内容

(1) 介護福祉士会の組織強化に関する事業

- ①入会率向上を図ります。(目標：新規入会 100 名)
- ②支部・ブロックの活動、研修のやり方を工夫し、非会員を巻き込んだ活動を行います。
- ③広報紙や、ホームページ、フェイスブック等を活用して介護福祉士や、地域に団体の存在感とその活動内容を知らせる。
- ④介護カフェ・ワークショップ等で、会員、非会員を含めた対話の場を作り、つながりを広げます。また養成校も含めた談話の場をつくります。
- ⑤入会キャンペーンを行い、期間限定で入会金の割引や特典を提供する。

(2) 職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業

- ①生涯研修体系に基づく研修、キャリアパス対応研修を実施します。
- ②求められる介護福祉士像を踏まえた取り組みを推進します。
- ③チームケア実践に対応できるリーダー育成に取り組みます。
- ④会員の論文研究を支援し、介護福祉士の専門性を可視化していきます。
- ⑤障がいの特性に合わせた生活支援、倫理についての勉強会を行います。
- ⑥自主的な専門部会の活動を継続します。

(3) 災害支援のための取り組み

- ①長野県災害福祉ネットワーク構成団体と連携、協働し災害支援を行います。
- ②大規模災害時や災害に備え近隣都道府県介護福祉士会と連携、協力します。
- ③発災時に迅速な対応(被災者支援のための会員派遣や他都道府県士会からの受入れ)ができるように、平常時から会の派遣体制を整備します。(活動員の育成と募集)
- ④避難所開設時の初動時に必要な備品を整備します。

(4) 介護福祉士の役割を担い地域包括ケア・共生社会の構築を推進

- ①地域包括ケアを推進していく介護福祉士の専門性を、研修を通して、伝えます。
- ②他団体との連携し、地域での活動を行ないます。
- ③地域包括ケア、地域共生社会、多職種連携等の情報を会員に提供し、参加の機会を広げます。
- ④養成校と連携し、勉強会の活動を継続させます。(介護の質を高める会含む)

(5) 介護福祉の普及啓発

- ①「介護の日」に合わせ関係団体と連携し「ケアコンテスト」などのイベントに取り組みます。
- ②長野県内の小学生・中学生を対象として、「介護」についての理解促進と「介護職」についての正しい情報提供と魅力を伝え、将来の職業の選択肢につなげることを目的とした講座「介護プチ講座」の開催、高校・専門学校・大学を対象とした「福祉・介護の出前授業」の広報をします。
- ③「介護への道」のパンフレットを学校やハローワークなどに配布します。

(6) 介護人材確保・定着のための取り組み

- ①仕事のやりがいと楽しさをケアコンテスト、ふくしニアを通して発信します。

(7) 行政機関や各種関係団体が開催する検討会等に参画し、介護福祉士会としての意見を発信します。

(8) 特定資産の使用目的について継続検討します。(検討委員会の設置を検討)

(9) 離職防止と再就職促進事業

- ①潜在介護福祉士に向けた研修を要望があれば計画していく。
- ②離職防止を目的に、介護職員の心の声を受けとめる相談窓口を設置し公開します。

(10) 介護福祉士の調査研究に関する事業

- ①日本介護福祉士会の行う調査研究事業への協力を行います。
- ②論文研究事業（年6回）

(11) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- ① 支部活動が円滑にできる体制整備を各支部で行います。
- ② 各支部の報告会で同意された活動報告等を、本会の定期社員総会で決議します。(令和7年度より、定時社員総会にて支部も一緒に決議する)
- ③ 本会、各支部の規約の見直しを行います。
- ④ 県からの委託事業を積極的に行います。
- ⑤ 効果的なコスト削減方法と、情報伝達方法を検討し、実践します。
- ⑥ 日本介護福祉士会の個人サイト「ケアウェル」への登録、運営サポーターへの登録を推進します。
- ⑦ 自助努力をする中で、入会基準についての検討をしていきます。

2.委員会活動

(1) 運営委員会

目的：介護福祉士会の本会と支部との情報共有と連携をとり、運営委員による協議検討、実践を行うことで事業運営を円滑に行うことを目的とする。

項 目	日 時	場 所	備 考
運営委員会	令和 7 年 5 月 2 日（土） 13:00～15:30	対面：場所未定	新旧
	7 月 11 日（金） 9:30～12:00	オンライン	
	9 月 19 日（金） 9:30～12:00	オンライン	
	11 月 21 日（金） 13:00～15:30	対面：場所未定	
	令和 8 年 1 月 9 日（金） 9:30～12:00	オンライン	
	3 月 7 日（土） 13:00～15:30	対面：場所未定	
	4 月 24 日（金） 13:00～15:30	対面：場所未定	新旧

※日時、場所、開催方法の変更がある場合があります。

(2) 地域福祉委員会

目的：経験豊富な方々の力を借りながら、研修などを通して潜在介護福祉士の職場復帰を促すことを目的とした活動に関係団体と連携し推進していきます。

また、シニア世代の交流や活躍に場を広げていきます。

目 的	項 目	日 時	場 所
潜在介護福祉士の復帰事業	潜在介護福祉士研修会	令和 7 年 12 月	松本短期大学予定
交流を深める場づくり	交流会	7 月・3 月（R8）	ポッチャ・交流会
	研修旅行	令和 8 年度	検討中

(3) 災害対策検討委員会

目的：介護福祉士として災害対策においても他団体、多職種と連携し、長野県内外の災害時に災害ボランティアを派遣し、その専門性を活かした救助及び支援活動が迅速にできる体制を整えることを目的とする。

目 的	内 容
災害救護活動マニュアルへの取り組み	災害支援活動マニュアルを会員へ周知する 手順書の見直し 備品の整備
災害ボランティア活動員を定着させる活動	災害ボランティア活動員の更新 登録者名簿の作成
災害救援活動ボランティアの育成	災害ボランティア基礎研修 長野県災害福祉ネットワーク研修会に参加

	長野県災害時支援ネットワーク研修会に参加
--	----------------------

○委託研修及び講師派遣事業

項 目	期 日	主 催	内 容
介護職種技能実習指導員講習会	1 回	日本介護福祉士会	介護現場で技能実習生の指導に当たることになる技能実習指導員等を対象とした講習
全国一斉模試試験	1回	日本介護福祉士会	介護福祉士の国家試験対策のための全国一斉模試試験の実施
長野県外国人介護人材受け入れ支援事業集合研修	2月・3月 (3回)	長野県健康福祉部介護支援課	外国人介護人材が介護現場において円滑に就労・定着できるよう知識の習得と研修を通して交流する
外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座	9 月～12 月 (5 回)	日本介護福祉士会	介護福祉士国家試験の対策講座として、言葉の壁を乗り越えながら、国家試験に挑む外国人を支援する
キャリア形成訪問指導事業	5月～2月	長野県健康福祉部介護支援課	プログラムの一覧にある研修を事業所訪問して実施し、介護従事者のキャリアアップを支援する
社会福祉施設アドバイザー相談・派遣等事業	5月～3月	長野県社協福祉人材センター	安定的な施設経営及び、質の高いサービスの提供をするため、専門的な知識と豊富な経験を持つアドバイザーによる相談・派遣を実施する
広域連合介護認定審査会	通年	各広域連合	介護認定審査二次判定を通し、多職種と専門的な知見から判定をすることで、会員の資質向上を目指す

○その他

- ・5 月 31 日(土) 日本介護福祉士会総会・代議員会(東京都)
- ・6 月 14 日(土) 定期社員総会(飯山市文化交流館なちゅら)
- ・11 月 27 日(木)、28 日(金) 日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会(三重県)

(4)組織委員会

目的：長野県介護福祉士会の役割を広く発信して、共に介護業界全体の魅力を高めるべく活動を行います。主に組織率の強化と会員同士の連帯力アップを目途とします。

※組織委員会 概ね年2～3回の会議開催 およびSlackやLINEによる情報の共有

目 的	内 容
会員増強への取り組み	① 垣根を超えたボーダーレスな入会案内と告知活動 ・SNSなどオンラインプラットフォームを通じた組織活動 ・介護関連の諸団体との連携 ・介護事業者・各法人向けの入会促進活動 ・会員および一般向けの介護イベントやセミナーの開催 ・入会キャンペーンの企画、パンフレットの作成 ・入会促進のための資材の活用(パンフレットなど)
	② 養成校との連携 ・未来の介護福祉士たちへの業界団体の役割周知と入会促進 ・養成校との連携による介護業界の啓蒙活動 ・介護福祉士国家試験を受ける受験生を応援する活動
	③ 日本介護福祉士会、および他県介護福祉士会との連携 ・主に会員増強に関わる活動の情報共有 ・全国ネットワークを活用した一斉活動による告知力アップ
会員同士の連帯力アップおよび退会予防の取り組み	① 退会予防の具体的取り組み ・介護の困りごと解決へのサポート ・離職や退職の予防のための相談窓口整備 ・会員・非会員向けの労務問題解決へのサポート ・介護業界における他組織との情報共有と連携
	② 会員相互の交流の促進 ・青年部活動の支援(イベント、研修、名刺作成スキーム) ・講習会、研修会等の情報発信(広報・研修委員会との連携)
	③ 組織化に関わる会員意識の調査・分析 ・オンラインアンケートの実施 ・長野県介護福祉士会のブランディング作業
	④ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換 →地域福祉委員会と共同で世代を超えた会員の交流

(5)研修委員会

目的:介護福祉士の資質の向上や介護に関する知識・技術の普及を目指した研修の企画と分析を目的とします
※研修委員会 年3回 研修の運営、企画について討議

目 的	内 容
資質の向上や介護に関する 知識・技術の普及 研修の企画および分析	① 研修の運営補助 ・本会研修の設営・受付・片付けの他、受講生のサポート ・支部研修・ブロック研修の企画とサポート
	② 本会研修と全県支部ブロック研修の把握 ・講師・研修内容・会場のリストを作成し、情報共有する ・研修中の写真、受講生の感想などを支部・ブロック間で情報共有し、質の向上を図る
	③ 研修会終了後のアンケート実施と集計 ・アンケート結果を踏まえ、会員のニーズに応じた研修の企画を行う ・支部及びブロック開催の研修の充実を図る
	④ 他委員会との連携 ・新規会員勧誘活動 →組織委員会と連携を図り、研修時に介護福祉士会入会案内を実施する ・研修の周知 →広報委員会と連携を図り、研修の告知等を広報していく

①専門部会研修等

研修名等	期 日	会 場	内 容
認定介護福祉士 実践発表	未定	未定	認定介護福祉士として地域に向けた活動等実践報告を行う

②各種研修

研修名	期 日	会 場	内 容
認定介護福祉士 養成研修	4月～8月 (42日中の6日間)	JA 長野県ビル	認定介護福祉士としての役割や使命を果たすために必要な知識・技術を獲得し、実践力を身に着けた介護福祉士を養成する
ファーストステップ 研修	11月～6月	長野上水内 教育会館(予定)	小規模チームのリーダーや初任者の指導係として期待できる者、また現場における的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践ができる指導的職員を養成する
介護福祉士 基本研修	7月～9月 (4日間)	長野上水内教育会・トイゴWEST(予定)	根拠に基づいた介護を実践するために、求められる介護福祉士像、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、求められる知識と技術、介護過程の基本的理解、介護過程の展開の実際を学ぶ

リスクマネジメント 研修	4月、5月	松本なんなん 広場 JA 長野県ビル	介護現場におけるリスクマネジメントに焦点を当て、その目的と持つべき視点、体制整備に必要なツール類の作成と周知及び適切な運用方法の習得を目的とし、事故報告書もとにした事故要因分析の実施、適切な記録方法の習得、再発防止策の構築を学ぶ
サービス提供 責任者研修	7月～11月 (6日間)	上水内教育会	介護保険法と訪問介護、訪問介護計画、手順書の作成及び記録、他職種との連携及びコミュニケーション、事業所内で部下を指導教育する方法、サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応等を学ぶ
介護福祉士実習 指導者研修	6月～10月 (4日間)	JA 長野県ビル	介護の基本・実習指導の理論と実際・介護過程の理論と指導・スーパービジョンの意義と活用・実習指導の方法と展開・実習指導における課題への対応・指導者への期待
倫理的ケア実践に 向けた研修	5月、10月、 11月、1月	Zoom	介護場面での悩みや困っていることについて、問題解決のための知識と考え方を学び、倫理的感性を高め、現場で実践した対応方法の経過や結果を仲間と共有する
看取り研修	1月	Zoom	人生の最終章をその人らしく支えるために、終末期の身体の状態を理解し、利用者・家族等との関わり方、他職種との連携について学ぶ
生活支援技術 講習会 (指導者養成)	1日間	松本短期大学	生活支援技術の講師として、統一した基本技術の確認と、状況に合わせた技術が提供できるよう学ぶ
拘縮予防・ 改善のための 介護技術	1日間	松本短期大学	拘縮のメカニズムを正しく理解・評価し、適切なポジショニングをとることが予防に繋がり、利用者の苦痛緩和となることの基礎知識を学ぶ
リーダー研修	11月19日	塩尻総合文化 センター	利用者により良いケアを提供するとともに、介護スタッフが協働しあって「チーム」としてケアを行うためのケアの助言・指導を行うことができる能力とその技術を学ぶ
障がい者の理解と 関わり方研修	1日間	未定	共生社会の中でともにある考え方を養うために、障がいのある方の理解を深め、より良い関係づくりを築いていくために基本的な視点を学ぶ

(6) 広報委員会

目的:ケアワーク信濃やホームページ、フェイスブックを活用し、会の目的や日頃の活動、介護に関する情報等を効果的に発信します。

※編集委員会 年5回（ホームページ担当者会議 必要時）

目 的	内 容
会員意識の向上に資する啓発、広報活動	① 会報「care work しなの」発行（年 5 回 6.8.10.12.3 月に発行） ・最新の介護情報の発信 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・会員相互の交流、活動状況、新会員の紹介 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告
	② ホームページの活用 ・本会及び支部、ブロックからの情報発信
	③ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換 ・新会員の獲得に向けた活動等の報告
会員への情報伝達や会員拡大への広報活動	① 会報「care work しなの」の発行 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・会員相互の交流、会員の活動状況、新会員の紹介 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告 ・最新の介護情報の発信 【会報発行】 6月 care work しなの 179号発行 8月 care work しなの 180号発行 10月 care work しなの 181号発行 12月 care work しなの 182号発行 3月 care work しなの 183号発行
	② ホームページ及び facebook・会員勧誘 DVD の活用 ・講習会、研修会等の広報 ・入会案内 ・情報公開 ・介護福祉士会の活動状況発信
	③ 会員への情報発信と受信方法の検討
	④ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換 ・新会員の獲得に向けた活動等の連携